

ざ・ちゅうおう ぶれす

第101号 2021年7月

発行 世田谷区立中央図書館

世田谷区弦巻3-16-8

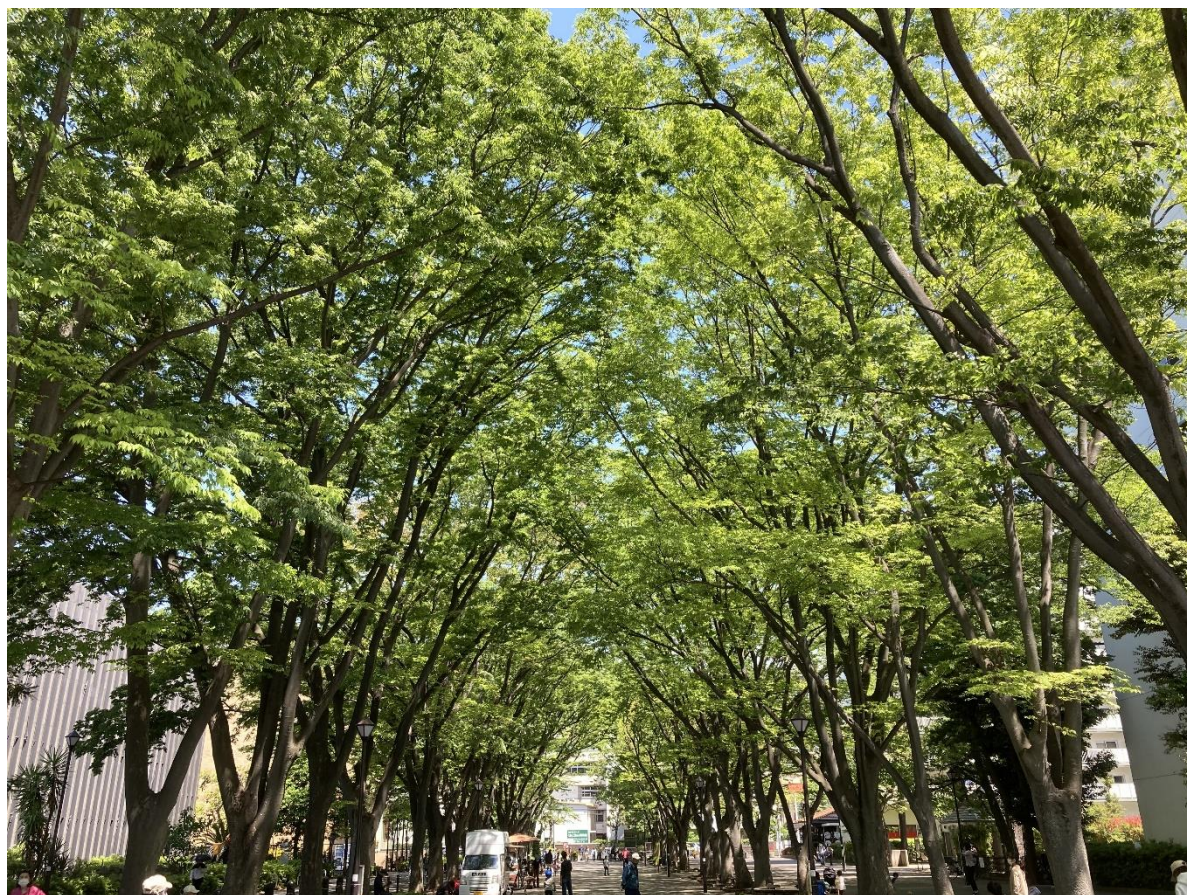
Tel 3429-1811

Fax 3429-7436



<https://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>

「ざ・ちゅうおう ぶれす」は世田谷区立図書館ホームページでもご覧いただけます



馬事公苑前 けやき広場

中央図書館カレンダー

7月							8月							9月							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7														
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
																											31

開館時間

火～日 10:00～19:00

月・祝・休日 10:00～17:00
カレンダー■の日

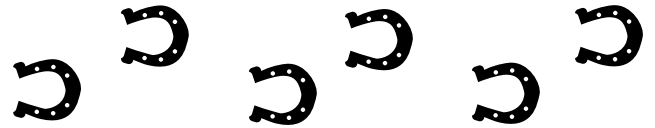
休館日 カレンダー■の日

最終木曜日（10月は第3木曜日）

年末年始・特別整理期間

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開館日時等が変更になる場合があります。
最新の開館状況については、世田谷区立図書館ホームページなどでご確認ください。

馬と世田谷



世田谷は、馬と関わりの深い地域です。

上馬、下馬、駒沢、駒繁、駒留など、馬に関連のある地名が多く存在します。また、馬に関わる史跡や施設も多数残されています。今号では、世田谷の馬にまつわる歴史をひもときます。

源頼朝と葦毛塚

現在の上馬・下馬地区は馬引沢村と呼ばれていました。この辺りを馬引沢村というようになったのは次の由来があります。「1189(文治5)年に源頼朝が藤原泰衡を討伐するために鎌倉を出発して、奥州平泉へ向かってこの土地を通った時のことです。ここ、蛇崩の激しい沢筋にさしかかったところ、突然頼朝の乗った馬が暴れだして沢の深みに落ちてしまいました。急いで馬を助けようとしたのですが、まもなく馬は死んでしまい、そこで頼朝は馬を沢沿いの地に葬り、その馬が葦毛だったことから葦毛塚と名づけました。頼朝はこの事故を戒めとして、「この沢は馬を引いて渡るべし」と申し渡したので、以後馬引沢の名がつけられたということです。この葦毛塚は、今の下馬の地に残されています。」(参考文献 a. 14 ページより引用)



源頼朝が乗っていた葦毛の馬が死に埋葬した場所といわれている「葦毛塚」。区内下馬5丁目にある。

1930(昭和5)年の区画整理の際、周囲を船形にコンクリートで土どめして保存されることになった。

その後、寛永年間(1624-43?)に上馬引沢村と下馬引沢村に分かれます。1889(明治22)年に、両村は野沢、弦巻、世田谷新町、深沢と合併し、駒沢村が誕生します。その後、1925(大正14)年に、駒沢村は関東大震災以降の市街地から移住する人の増加にともない駒沢町になります。その時、馬引沢は下の二文字を省いて、それぞれ上馬、下馬と改名することになりました。



「馬牽澤古事」松濤軒斎藤長秋[他]著『江戸名所圖會 7 卷 [8]』須原屋茂兵衛[他]、1834-1836(天保5-7)年
*『国立国会図書館デジタルコレクション』より転載

馬事公苑とオリンピック

馬事公苑の誕生については昭和初期まで遡ります。当時の日本には総合的な馬事施設がなかったため、帝国競馬協会は1934(昭和9)年に、前年に誕生された皇太子殿下明仁親王(当時)の奉祝記念行事の一環として、一大馬事施設の建設計画を立てました。

建設用地としては、玉川村(当時)の耕地整理組合より土地の買い上げの話があり、用賀地区の5万坪の土地を買収しました。

昭和初期の馬事公苑周辺は、うっそうとした雑木林が広がり、物騒な感じがする所でした。時々、子どもたちが遊び場として足を踏み入れるぐらいで、近所の人はほとんど立ち入らなかったそうです。

帝国競馬協会から日本競馬会と名称が変わった1936(昭和 11)年にオリンピック大会の東京開催が決定しました。これに備えて用地を追加買収し各種施設の設計を急ぎましたが、日本全体が戦時体制に入っていた時期であり鉄の使用制限が出ていた当時では工事は進みません。しかも、オリンピック開催が返上されてしまいます。

その後、当初の計画より規模は縮小されましたが1940(昭和 15)年に馬事公苑は開苑しました。1964(昭和 39)年には第 18 回オリンピックの馬術競技施設として9月15日から11月5日までの間、世界 20 カ国 157 頭の人馬を收容し、覆馬場をはじめとする施設は練習などに活用されました。

野砲部隊と馬魂碑

現在の三宿から下馬等にかけての世田谷区東部は、1891(明治 24)年の騎兵第一大隊を手始めに、さまざまな軍事施設が設置され、軍隊の町ともいえる景観を呈するようになりました。1898(明治 31)年から翌年にかけては砲兵営群が設立されました。砲兵部隊と馬は密接な関係があります。当時は野砲を牽引するために馬の力が必要だったからです。馬部隊には「将校、下士官、馬、兵隊」という言葉があったとされ、一般の兵隊より、馬の方が地位が高かったとさえ言われています。



団地内の公園にある「馬魂碑」。2021年5月現在、団地の建て替え工事のため中に立ち入ることはできない。

下馬の小さな公園の中に「馬魂碑」があります。犠牲となった軍馬の冥福を祈るため、野砲兵第一連隊が1939(昭和 14)年に建立しました。碑の背面には「我部隊保管ノ軍馬ハ我隊将士ト死生ヲ俱ニスヘキ戦友ニシテ(以下略)」と書かれています。

周辺の農家にとっては、部隊から出る馬糞や寝わらが畑の肥やしになり、農業生産が大きく向上することになりました。

馬と人間は、世田谷の地でも、古くから大切な共生相手として関係を築いていたことが窺えます。

■参考文献■

- a.『ふるさと世田谷を語る 上馬・下馬・野沢・三軒茶屋・駒沢(1～2丁目)』世田谷区総務部文化課,1994年
- b.『ふるさと世田谷を語る 用賀・上用賀・中町(野良田)』世田谷区総務部文化課,1992年
- c.『下馬史』高橋信次郎,1987年
- d.『馬事公苑 50年のあゆみ』日本中央競馬会馬事公苑,1990年
- e.『軍馬の戦争』土井全二郎,光人社,2012年

馬と図書館



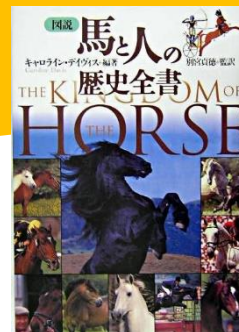
数千年の昔から、人類と馬は深い関わりを持ってきました。馬の生態だけでなく、人間との関わりを知ることのできる書籍を紹介します。



ウマの博物図鑑
デビー・バズビー 著
カトリン・ラトランド 著
小林朋則 訳 原書房
【請求記号 6452 は】



ウマ大図鑑
日本ウマ科学会 監修
PHP研究所
【請求記号 J48 緑】



図説 馬と人の歴史全書
キャロライン・デイヴィス 編著
別宮貞徳 監訳
東洋書林
【請求記号 6452 て】



馬の自然誌
J.E.チェンバレン 著
屋代通子 訳
築地書館
【請求記号 6452 ち】

第15回世田谷区子ども読書活動推進フォーラム

令和3年1月31日(日)開催

いまこそ、昔ばなしを！

講師 小澤俊夫先生

「昔ばなしは語られている時間の間にだけ存在し、終わったら消えてしまう1回きりのものであるというお話から、第1部の講演会が始まりました。そして、小澤先生が生で昔ばなしを語ってくださるという幸せな時間が！！昔ばなしは「声で聞くお話」。声を耳で聞くということは、語り手が近くにいるということであり、安心感が生まれるので、生の声を届けるということが重要だとお話しされました。



『うまかたやまんば』を語る 小澤俊夫先生

小澤先生は「三年間寝てばかりだったけれど、ある日急に起き上がり、知恵を使って長者になる。」という『三年ねたろう』がお気に入りなのだそうです。「ねたろうは三年眠っていたから、いい知恵が生まれたと思う。今の子どもたちは、親の期待に添おうと頑張り過ぎているので、のんびり考える時間も必要なんじゃないか。」と、現在の子どもたちが置かれている状況をとても心配していらっしやいました。小澤先生の子どもたちへの愛情溢れる素敵なお話に引き込まれ、あっという間に講演会が終了しました。

第2部の質疑応答は、第1部の講演を聞いて、疑問に思ったことや気になったことを質問票に参加者が記入する方法で実施しました。参加された方々からは、「一万冊の育児本を読むよりも勉強になりました。」「昔ばなしの大切さを再認識しました。」などの感想をいただきました。

フォーラムの内容をまとめた報告誌ができました。図書館、ホームページをご覧ください。

子ども読書の日記念イベント「かがくのおはなし会」

令和3年4月24日(土)開催

子ども読書の日(4月23日)は、子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため定められています。中央図書館では、毎年この日を記念し「かがくのおはなし会」を開催しています。今年は、水をテーマに、ペットボトルを透して見える不思議と、われないしゃぼん玉の実験を行いました。



しゃぼん玉できるかな



当日は、親子づれなど合計20名の参加をいただきました。感染対策のため距離をとりながらでしたが、笑顔と歓声の中、楽しく実験ができました。身近なものや日常の遊びの中にも「かがく」はあります。これを機会に、ぜひ、ご家庭でも発見してください。

○ ■ 当日のプログラム ■ ○

絵本 『ぞうのみずあそび』 いたうひろし作 (絵本館)

絵本 『みずたまレンズ』 今森光彦作 (福音館書店)

『水のふしぎあそび』 立花愛子・佐々木伸著 (偕成社)

絵本 『しゃぼんだまとあそぼう』 杉山弘之・杉山輝行文と構成
吉村則人写真、平野恵理子絵 (福音館書店)

『ギモンかいけつ！ でんじろう先生の実験教室』

米村でんじろう監修 (文化学園文化出版局)

図書館活用講座(中級編)「図書館を活用して認知症予防」 令和3年3月7日(日)開催

都内の障害者施設に勤務しながら講演や執筆活動を行っている結城俊也氏を講師にお迎えして、身近な図書館を認知症予防に役立てる方法についての講演会を開催しました。

人工知能の分析で、読書には運動や食事よりも健康寿命を延ばす効果が認められる、というデータがあるそうです。今回は、認知症予防につながる行動習慣として、運動・知的活動・交流の3つを、身近な図書館を利用することで実現していく方法について、講演していただきました。

図書館へ行くことを利用してウォーキングで脳を活性化させる方法や、読書が脳にもたらす良い影響、イメージを膨らませて読む・朗読する・オノマトペを楽しむといった認知症予防に効果的な読書のコツ、人と交流して社会的認知能力を高めるため図書館のイベントに参加することの勧めなど、データや具体例を豊富に提示しながら、充実した内容でお話いただきました。

お話の合間には、簡単に取り組める筋トレの実演や頭の体操になるクイズなども交え、ただお話を聞くだけではなく、頭を使ったり想像力を働かせたりしつつ、終始和やかな雰囲気を楽しみながらの講演でした。

参加者からは、「とても分かりやすく、参考になりました。」「本当に面白く楽しい講座でした。」「早速実践してみようと思います。」といった、嬉しいご感想をお寄せいただきました。



「認知症予防につながる3つの行動習慣」を説明する 結城俊也 先生



図書館に来館しなくても読書を楽しむために昨年11月より開始しました「世田谷区電子書籍サービス」は資料の数も順調に増え、2021(令和3)年5月現在、8,825点の資料をご利用いただけるようになりました。

お手持ちのスマホやパソコンなどから、気軽に楽しめる電子ならではのサービスをご紹介します。

世田谷にゆかりの作家

徳富蘆花や林芙美子など世田谷にゆかりがある文豪の作品をまとめました。絶版などで入手困難な作品もご覧いただけます。

- ジャンルで絞り込む
- すべて >
- ▶ 世田谷にゆかりの作家(青空文庫)
 - ▶ 徳富蘆花(粕谷)(8)
 - ▶ 林芙美子(太子堂・瀬田)(47)
 - ▶ 北原白秋(成城)(9)
 - ▶ 斎藤茂吉(代田)(22)
 - ▶ 荻原朔太郎(代田)(27)
 - ▶ 海野十三(若林)(146)
 - ▶ 坂口安吾(松原)(154)
 - ▶ 横光利一(代沢)(31)

多様な「特集」コーナー

「新着資料」のほか「おうちで筋トレ」「図鑑を眺める」など、約20の新たな視点から本を探せます。

「特集」ページへは「電子書籍サービス」トップ画面の「特集」をプルダウンします。スマートフォンでは、トップ画面左上の「メニュー」から「特集」へどうぞ。

- 図鑑を眺める
 - 歴史から学ぶ
 - おうちで筋トレ
 - 健康・医療
 - 片づけ、掃除、暮らしのくふう
 - 外国語にチャレンジ!
 - 外国文学の名作
 - 子供の科学
- 教科書で読んだ名作を青空文庫で読んでみる

利用するには？

ご利用には、事前に利用申し込みが必要です。世田谷区立各図書館・図書室・図書館カウンターで承ります。

- 貸出数 2点まで
 - 貸出期間 2週間
 - 予約数 2点まで
 - 予約取置期間 1週間
- * 図書館共通利用カードをお持ちの、世田谷区在住・在勤・在学の方がご登録いただけます。
- * 電子書籍サービスをご利用いただくには、PC・スマートフォンなどの端末が必要です。

本のメンテナンスって！？

1冊1冊の本をより多くの方々に長きにわたって、ご利用いただくために、図書館では本の修理を行っています。今回はその修理方法の一例をご紹介します。

修理1 のど割れ

本を開いたときにページを綴じている部分を『のど』と呼び、この部分が割れてしまうことを『のど割れ』と言います。放置しておくと、本が2つに割れてしまうことも！



竹串でボンドをつけているところ

割れている部分に竹串でボンドをつける、もしくは、ページヘルパーと呼ばれる本の修理用テープを用いて補強するといった方法で修理を行います。

修理2 シミ・汚れ

飲食物による汚れ、経年劣化によるシミなど汚れの種類は様々です。本のページ側面にあり内部まで染み込んでいないものは、ヤスリをかけて汚れを落とします。



ヤスリを丸形にして、こすりやすくします

しかしながら、シミや汚れが深く染み込んでしまったものや、広範囲にわたるもの、水濡れによるものは修理不可能なので本を読む際は、ご注意ください。

修理3 ヨレ

本のページ全体にズレが生じ、斜めになってしまった状態を『ヨレ』と言います。



ヨレた状態の本

プレス機と呼ばれる道具を用いて、本を1週間程加圧し正常な状態に戻します。



プレス機で加圧しています

図書館からのおねがい セロハンテープは使わないで！

稀にご返却いただいた本で、破れた箇所にもセロハンテープを貼っていただいている場合があります。セロハンテープは劣化すると茶色く変色し、かえって本の寿命を縮めてしまう恐れがあります。

本の修理専用テープにて修理しますので、破れた箇所を見つけた際は、ご自分で修理せず返却の際に図書館職員にお伝えください。

多くの方々にご利用いただけるよう
ご協力をお願いいたします

本のメンテナンス・修理について、もっと知るためのガイド



図書の修理とらの巻

NPO法人書物研究会編／板倉正子監修／野呂聡子ストーリー・絵／澤標

ご自宅でも試してみたいくなる本の修理法が紹介されています。続編もあります。【請求記号 0146 と】

■ 国立国会図書館「動画で見る資料保存：簡易補修」

<https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/remote/minorrepair.html>
和紙とでんぷんのりを使った、補修方法が紹介されています。

■ 東京都立図書館「資料保存のページ」

https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/guide/about_us/collection_conservation/conservation
都立図書館の資料保存に係る活動などが紹介されています。

(2021年5月確認)

ヤーガの走る家

ソフィー・アンダーソン 作 長友恵子 訳 小学館

スラブ民話のヤーガといえ、人を喰う山姥的存在ですが、この話に出てくるヤーガはちがいます。死者をあの世に送り出す「門の番人」です。マリнкаはヤーガになる運命を背負った12歳の女の子。鳥の足がはえた家にヤーガのおばあちゃんといっしょに住んでいます。けれどもマリнкаはヤーガにはなりたくありません。人間の世界で友達を作って暮らしたいのです。その切実な願いから起きてしまった悲しい出来事を乗り越え、マリнкаは運命を切り開いていきます。



あなたもマリнкаを通して、自分の人生は自分で決めたいと、もがいたあの頃を思い出すかもしれません。

【請求記号 J 赤あ】

食の世界史

—ヨーロッパとアジアの視点から—
南直人 著 昭和堂

食は人間活動の基本的な要素であるのにもかかわらず、歴史学においては長らく研究に値するテーマとみなされてこなかったそうです。本書はそんな歴史の片隅にいた食が、実は歴史に大きな影響を及ぼしていたことを知るのにぴったりな本です。また、「世界三大料理」と呼ばれる中国料理・トルコ料理・フランス料理のうち、宮廷料理由来でないフランス料理がなぜ三大料理に数えられるのか、ヨーロッパや東・東南アジア各国の料理がどのように成立していったのか、いわゆるエスニック料理といわれる東南アジア料理の各国ごとの違いなど、知るとちょっと食事が楽しくなるような知識も満載です。



【請求記号 3838 み】

新着図書案内

身近な環境・生活のホントがよくわかる本

浦野紘平 共著 浦野信弥 共著
オーム社

日本が世界から注目され、外国人が来日・在留する一方で、日本人も海外に永住しています。また、日本の衣食住も、外国との関係なしでは成り立たなくなっています。現在、日本は大きな国際化の波の中にいます。世界の中の日本の状況を知るとともに、身近な環境や生活を知り、「日本の良さを守りながらも国際化していくこと」が求められています。



「ペットボトルの水は中の水よりボトルのほうが高価である」…身近な空気・水・森・生物・生活様式や食べ物・エネルギー・ごみなどについての「ホント」を、100のメインテーマ、200のコラム、見開き1テーマでまとめています。どのテーマもイラストや写真で、分かりやすく解説されています。【請求記号 5190 う】

西洋アンティーク・ボードゲーム

エイドリアン・セビル 著 鍋倉僚介 訳
日経ナショナルジオグラフィック社

19世紀のヨーロッパはボードゲームの黄金期でした。本書は当時流行したボードゲーム、約90点をカラー写真と共に紹介しています。印刷物のボードゲームとしては初となる「がちょうのゲーム」を皮切りに、当時の社会風俗を反映して宗教や観光、スポーツなど様々な題材のゲームが生まれました。楽しく遊べるようルールに工夫をこらし、美しい意匠に彩られたゲームは眺めているだけでも楽しめます。マスを追えば、子どもたちのわくわくした気持ちさがよみがえります。



サイコロ、コマ、チップを用意すれば家族、友人とボードゲームで遊ぶこともできますよ！

【請求記号 7980 せ】



Information from Setagaya Central Library

図書館からのお知らせ♪



10代向け講演会 SF・文学・声優

池澤春菜さんが語る

声優・書評家として活躍されている池澤春菜さんが10代の方へ、読書の楽しみと職業について語ります。



池澤春菜さん

8月7日(土) 午後2時～3時半
教育センター(中央図書館)3階「ぎんが」
10代の方優先 定員50名(要申込)
7月1日より受付開始(電子申請)

読書の秋の講演会 落語と読書

落語界で唯一、図書館司書の資格を持つ、おなじみ入船亭扇治師匠による公演です。



入船亭扇治師匠

9月23日(木・祝) 午後2時～4時
教育センター(中央図書館)3階「ぎんが」
小学生以上 定員50名(要申込)
詳細は8月中旬にお知らせいたします。

文字・活字文化の日記念講演会

エッセイストとして活躍されている宮田珠己さんをお迎えし、本や雑誌の知られざる魅力について語っていただきます。



宮田珠己さん

10月16日(土) 午後2時～4時
教育センター(中央図書館)3階「ぎんが」
小学生以上 定員50名(要申込)
詳細は9月頃にお知らせいたします。

子どもから大人まで楽しめる 図書館コンサート

ミュージシャン&マジシャン&翻訳家として活躍中の大友剛さんによる、楽しいいっぱい皆で楽しめる図書館コンサートです。



大友剛さん

11月6日(土) 午後2時～4時
教育センター(中央図書館)3階「ぎんが」
小学生以上 定員50名(要申込)
詳細は9月頃にお知らせいたします。

ささやかですが

ティーンズ TEENS コーナーをつくりました!



従来の書架をリニューアルし、「TEENS コーナー」を新たに設置しました。主に中学生・高校生の方に向けた図書を一部集めています。

TEENS コーナーでは、置いてあるジャンルごとに、
①岩波ジュニア新書、②仕事・職業、③部活物語・おすすめ本の3ブロックに分かれています。

1階の自動貸出機・検索機のすぐそばです。

『新版 部活物語』2020年12月に発行した新しいブックリストです。2015年以降に出版された、部活動にまつわるおすすめ小説や実用書などをまとめました。中高生だけでなく、大人や部活に興味のある小学生の方にもおすすめです!掲載図書は、TEENS コーナーで手に取ることができます。



編集後記 感染症拡大防止のため、世田谷区立図書館は4月25日から、事前に予約され、用意できた資料の受取などに限定しサービスを行っていました。必要な人へ、必要な時に、必要な資料をお届けするのが使命の公共図書館に勤める者にとっては忸怩たる思いでした。コロナウイルス影響の先はまだ見通せませんが、今後も感染症拡大防止対策を徹底してサービスを続ける所存です。【O.Y.】